

単元名 曲に合った歌い方

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けることができる。
- (2) 旋律の流れやフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。
- (3) 曲想を生かした歌唱表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

04070202_001

【教材名】 ゆかいに歩けば（歌唱） とんび（歌唱）

(P. 28～P. 31)

【準備等】 範唱CD

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 「ゆかいに歩けば」に合った歌い方を工夫して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主旋律を歌詞唱する。 ★ひびきを大切に歌い方をくふうしよう <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴き、曲の感じをつかむ。 ・歌詞を読み、内容を理解する。 ・聴唱法で歌い、メロディーに慣れる。 ○曲に合う歌い方を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・歩きながら歌い、どんな歩き方が合うか、意見を出し合う。 ・旋律の感じが変わるところを探す。 ・スタッカートの歌い方を工夫する。 ・「バルデリー」からの部分を工夫する。 ・呼吸や発音に気を付けて歌う。 ○下声部を歌詞唱する。 <ul style="list-style-type: none"> ・イの部分の下声部の動きについて、楽譜を見て確認する。 ・音を確認しながら歌う。 ・下声部の役割について考える。 ○二部合唱する。 <ul style="list-style-type: none"> ・互いに聴き合って歌う。 ・スタッカートの箇所が発音や発声の仕方や、長い音符を響かせて歌うなど、歌い方をさらに考える。 ・伴奏に合わせて、楽しく歌い合わせる。 <p>3～4 「とんび」に合った歌い方を工夫して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歌詞唱する。 <ul style="list-style-type: none"> ・階名唱して音を確認する。 ・音の高さに合わせて手を動かしながら歌詞唱し、旋律の流れと歌詞との関わりについて、気付いたことを交流する。 ○クレシェンド、デクレシェンドの意味を知り、その効果を考えて歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・「ピンヨロー」の部分の歌い方を考えて歌う。 ・気付いたことを交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発声練習に適した教材である。前半の部分を「ピ」「ポ」「マ」などの言葉で歌うとよい。その際、P29の写真のように肩を楽にし、お腹に手を当てながら歌い、お腹を使って歌うことを意識させる。 ・スタッカートの付いている音は弾んだ感じで歌うようにさせる。 【新出】スタッカート ・同じリズムで少しずつ音が高くなっている旋律に合わせて、気持ちが盛り上がっていく部分である。徐々に強くしていき、伸びている音を響かせて歌うようにさせる。また、付点8分音符や16分音符のリズムにのせて、弾んだ感じも出していくようにさせる。 【共通事項】旋律 音色 ・スタッカートの発音と、腹式呼吸の意識をリンクさせて伝えるようにする。 【評】旋律の流れやフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 ・音程が不安定なところは部分的に取り出して練習する。 ・聴き合って、響きのバランスをとらせる。 ・曲想に合った楽しい歌い方を大切にする。 ・弾んで歌うスタッカートの部分や、なめらかに歌う部分を意識させながら歌わせる。 ・重なっている音を一つずつ歌って響きを確認しながら練習させる。 ・声の響きやバランスを考えながら歌わせる。声が競争してぶつからないように気を付けさせる。 【評】呼吸や発音に気を付けながら歌う活動を通して「技能」を評価する。 ・教科書の挿絵を見たり、とんびが飛ぶ様子や鳴き声を想像したりして様子を思い浮かばせる。 ・「学びリンク」の音声を活用してもよい。 ・空を飛んでいるとんびに呼びかけている歌詞であることに気付かせる。 ・手を音高に合わせて動かしながら階名唱して音の高さの動きを確認したり、旋律の流れと歌詞の内容の結びつきを捉えさせたりする。 ・クレシェンド、デクレシェンドと旋律の流れや歌詞の表現がリンクしていることに気付かせる。 【共通事項】旋律 フレーズ 呼びかけと答え 強弱 【新出】クレシェンド デクレシェンド 【評】曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりを捉えて歌う活動を通して「知識」を評価する。

- ふさわしい歌い方で歌詞唱する。
 - ・ 3段目の鳴き声の部分の旋律について，気付いたことを出し合う。
 - ・ イメージされるとんびの様子について出し合う。
 - ・ 4つぐらいのグループに分かれ，3段目の鳴き声の部分の歌い方や強さについて考える。
- 歌い方をまとめる。
 - ・ 3段目については，児童のアイデアを取り入れて全員で歌って試していく。
 - ・ 「ゆかいに歩けば」と「とんび」を歌い比べ，気付いたことを交流する。

・ 楽譜を視覚的に共有し，出し合った意見を書き込みながら進められるよう，大きな楽譜を準備する。

・ 曲想の違いから，歌い方が変わることに気付かせる。

【評】 曲想を生かした歌唱表現を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】